

24 de Agosto 1937

el "Argentin Dijo" Año XIV No. 720 (4)

滿洲國を脅威する
察哈爾侵入支那軍
大損害を受く
(新京廿一日、関東軍司
令部發表) 暫戻ある支那
軍が土肥原親衛團定左
破つて、強大ある兵力を
稟哈爾省内に侵入せしめ
滿洲國に大有る脅威反対
へつゝあるので、関東軍
は防守、全方面の敵を撃
滅するに決し、昨廿日午
時、
(長辛店廿一日) 良鄉西方三里地
里村に陣地築中の中支那軍歩兵約
五十、騎兵約五百に対し、〇〇部
隊は十九日夜半より行動を起し、
河川を突破、敵前三百米進前進、
敵陣地を突破して瀕走したが、
一日の正午に至ると猶直撃中で
ある。

島形勢の大化

我軍、河川を突破
地里村の敵を肉迫
暴々たる屍を乗越へ追撃
(長辛店廿一日) 良鄉西方三里地
里村に陣地築中の中支那軍歩兵約
五十、騎兵約五百に対し、〇〇部
隊は十九日夜半より行動を起し、
河川を突破、敵前三百米進前進、
敵陣地を突破して瀕走したが、
一日の正午に至ると猶直撃中で
ある。

シンガボールに於ける 排日運動露骨化

(シンガポール廿一日) 北支事変
(青島廿一日) 中央聖派
遣の税務官が公安局巡警
に代つて青島市中の治安
維持に当りんと、市政府
と税務官は日下折衝中
であるが、若し之が実現
せば、居留民は一名も青
島に在留し得あり、
危險に當面するゆけ
て重大化してさる。

我が空軍九江を爆撃

(上海廿一日) 昨日我が海軍航
空部隊は支那奥地に飛行し、九江
では飛行場及び支那軍使用
中の結婚会社建物に命中、大爆
炸を行つた。之がため支那軍及
び附近の人に大動搖を示して
居り、蘆山避暑中の外人を続々
避難を開始し、支那に招請され
る者、香港まで引揚げを命ぜ
られた。

我軍張軍空を爆撃を口

行隊の一部は長家口に対し、栗放
る爆撃を実施し、張家口兵営並
に無線電信所を破壊し、その他
にこ多大の損害を蒙へたり、我
軍が土肥原親衛團定左
破つて、強大ある兵力を
稟哈爾省内に侵入せしめ
滿洲國に大有る脅威反対
へつゝあるので、關東軍
は防守、全方面の敵を撃
滅するに決し、昨廿日午
時、
(新京廿一日) 良鄉西方三里地
里村に陣地築中の中支那軍歩兵約
五十、騎兵約五百に対し、〇〇部
隊は十九日夜半より行動を起し、
河川を突破、敵前三百米進前進、
敵陣地を突破して瀕走したが、
一日の正午に至ると猶直撃中で
ある。

后関東軍察哈爾作戦軍に属する飛
行隊の一部は長家口に対し、栗放
る爆撃を実施し、張家口兵営並
に無線電信所を破壊し、その他
にこ多大の損害を蒙へたり、我
軍が土肥原親衛團定左
破つて、強大ある兵力を
稟哈爾省内に侵入せしめ
満洲國に大有る脅威反対
へつゝあるので、關東軍
は防守、全方面の敵を撃
滅するに決し、昨廿日午
時、
(上海廿一日) 我の陸戦隊が相界
防備に、在留民保護に専念しつゝ
ある左奇禪とし、支那側は最初自
己の兵力を過度に我軍に内迫し
突撃を敢行したが、我軍は
機関銃の掃射により敵兵全
滅の作戦に出た。之がた
め廟北方面に押よせ来り、
だ八十八師の如きは數十
萬の支那人は極めて不穏の形勢
を示してゐるので、郡司続領事
は在留邦人に自重を警告した。
(シンガポール廿一日) 北支事変
勃発以来、シンガボールに於ける
支那人の排日運動は益々露骨とあ
るが、若し之が実現せば、居留民は一名も青
島に在留し得あり、
危險に當面するゆけ
て重大化してさる。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の膠着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を多少進出せしめたもの
みで、廟北被説同様、
膠着状態を讀みてゐる。
嘩、航空隊の活躍は頗
る活潑あるので、上海附近の敵
軍は勿論、遠く互々各地の飛
行根據地なる軍事要地を爆撃して
敵の斬斷力削弱と敵の後方擾乱に
多くの効果をあげつてある。

并啓 各丘陵や御隆昌の段奉慶
賀使 陳者松井去る廿一日出
帆のラ・ラタ丸にて帰國の途
に就き申候 在此中は種々御
路駆線は日下大有る駿渓並く全く
の胶着状態と化してしまつた。
東部方面の我が防備陣地は安田
部隊到着以未、歸る豪圖となり
公大部隊が滬江大学方面の
陣地を

豪膽無比!

腰に日本刀、赤の向鉢巻

パラシートを持たぬ我空の勇士
不時着陸の場合切腹の覚悟

(○二十一日) 上海支

中心に展開せられた中

敵空軍と中々頑張り勇敢に空中戦

をやり敵ながら天晴と鬼ふところ

が兩三ある。だがこちらは生命を捨

て掛つてゐるんだ出動の命令一

下愛機に乗るも時誰一人

さ身に着る者は

三海二十一日)

昨夕六時四十分オ

ガスター号

船に弾丸落下した事件

につき我海軍当局は廿一日午前非

公式に左の如き談話を発表した。

一時刻には浦東黄浦江方面才

一ガスター号上空には敵機無く從つ

て我方砲撃し居らず、我飛行機は

公に南北は上海市南

より見るど向題の弾丸は日本側の

もので絶対砲撃し居らず、一曰

木側からオーガスター号方面は余り

に近距離にして技術的に砲撃不可

能である。従つて以上あらゆる奥

諸氏の希望に沿ふべく第二

回寄附金募集を決行す。

○申込規定は前回に準ず

つメカハ日廿一日とす。

北支那軍事委員会義捐金募

集メ後引続き申込者増加

しつゝあるに鑑み之等有志

諸氏の希望に沿ふべく第二

回寄附金募集を決行す。

○申込規定は前回に準ず

つメカハ日廿一日とす。

北支那軍事委員会義捐金募

集メ後引続き申込者増加

昭和二十年八月廿四日

テナ・藤原義江氏

愈々九月下旬來亞に確定

○商船ありそな丸で来航中。四五日頃着亞世界的テナとして有名な我が衆は既に本紙が遅く報道せんことはあるが、確かある筋へ入電によれば今般愈々成る亞國訪問は実現、既に去る七月三十一日門司出帆の大坂商船ありそあれ。

曰亞貿易の功勞者

故原利吉氏の追悼会

去る廿一日盛大に行はる

曰亞通商苦難時代から活躍し現在

の日本人商業会議所の前輩貿易

協会の創立者として殆んどその半生を曰亞貿易は尽した、亞國内否

南米風潮の邦商原商会主原利吉氏が偶々帰朝中去る本月十一日横浜

死の意在表明する聲明のうちに

四時二十分、北川稔氏の詫經の声除々に響き会衆百數十名しめやかに

焼香を終へ、斎藤彦藏、新宅隆一

報は、生前より交際活動範囲が広かつ

左だけは邦商關係方面は申すに及ばず、在亞同胞間多教知己は育しく

同氏の長逝を惜むの感を深からしめ左が、去る廿一日午後四時から

本人会館に於て当地に於ける故人追悼会が営まれた。

当曰は故人の冥福を祈るべく貿易

關係者を始め諸方面の知己等内外

人多数は既に定刻前より參集、今はさき原氏の靈を慰めんとす

(ア) 一九七号

亞爾然丁時報

テナ・藤原義江氏

愈々九月下旬來亞に確定

○商船ありそな丸で来航中。四五日頃着亞世界的テナとして有名な我が衆は既に本紙が遅く報道せんことはあるが、確かある筋へ入電によれば今般愈々成る亞國訪問は実現、既に去る七月三十一日門司出帆の大坂商船ありそあれ。

「カーネギー・ホール」等であるが、この

店員一同の眞心

は佛式に則つた準備万端に遺憾なく

現はれ敬虔り急務

場に張り、会場正

面に飾られたる故人の写真の前後

左右には各方面から寄贈の夥しい

花環の数々が供へられ、總てが哀悼の意在表明する雰囲気のうちに

焼香を終へ、斎藤彦藏、新宅隆一

兩氏の追悼の辞あり、之に答へて

金泉支那人は一九一七年当地奉仕

はす在亞同胞間多教知己は育しく

同氏の長逝を惜むの感を深からし

め左が、去る廿一日午後四時から

本人会館に於て当地に於ける故

人追悼会が営まれた。

当曰は故人の冥福を祈るべく貿易

關係者を始め諸方面の知己等内外

人多数は既に定刻前より參集、今はさき原氏の靈を慰めんとす

亘つて曰亞貿易に全身を献け同

し冥福を祈りつゝ散会した。

▲仲間善右衛門氏夫人出武帝在中

金泉支那人

神清大

正宗

本

一四。推

千

一八。

味附海苔

二六。

味附茶

二五。

味付

三三。

味付

二九。

味付

二九

24 de Agosto de 1937

El "Argentin Djijo"

São. XIV No. 720 (8)

謎の隕石 アシヤ

治意識の旺盛あるスターリン派共産党員のみによつて構成さる、時期が理想的には、また理論的には最もスターリン政権の強化した時期と称せ得られやうが、これは理想であつて、現実には遠い話である。また実力からいつて左様な時期が假りに来るとしても、實としてはとにかく墨々として最強力の時代とは云へないことであらう。スターリン政権の強權といふ意味はソ聯の中心にゞれり腰を据えて居つて、それによつて多數の非共産党分子をも包容、指導して、

赤軍首脳部の陰謀事件とこれに
基く赤軍肃正工作、全国に亘る反
スターリン政権分子の掃蕩、外交
第一線活動者の檢挙頻出などソ聯
の内部情勢は戦時共産主義時代に
も劣らぬ恐怖時代が再びせられて
ゐる。この事態は無論スターリン
政権を強化する目標のために働き
起されたものであるが、現在の恐
怖、不安、動搖の事態が果してスタ
ーリン政権の強化をもたらしたも
のか、それともスターリン政権の弱
化を招來するものであるか俄に断
定出来ないものがある。ソ聯が政

例ひ反スター・リン政権分子が残存してゐても彼らは蠢動の余地さへも与へ無いと云ふことにあつて未あければあらぬ。即ちこれさういひ換へるとスター・リン政権の意味が堵すほど、異分子に對して寛容的態度を示し、總ゆる各層を自己の陣営内に吸收する態度にあつて来る筈のものである。然るに現在のスター・リン政権はこれと逆のことを行つてゐる。その理由や原因は別個の問題として、スター・リン政権が異分子の存在に我慢が出来ず、これらの人々を自己陣営中よりものは変化せしめるだけの自信を失つて、两三、四恐怖的譁圧を食

スターリン政権の行方

はす、また食はさざるき得ないと
云ふことはスターリンの強権が寧
ろ噂ほどの強権ではなく、案外そ
の基礎地盤が薄弱あちこで、あつた
ことを證明するに外あらあい。
さて実際問題についてみると、
キーロフ事件以来再三反スターリ
ン政権陰謀、さてはスターリン暗
殺と云ふことがソ聯当局によつて
大袈裟に發表されてゐるが、實際
今日までスターリン政権要路の者
が殺されたのはキーロフ一人だけ
である。スターリン以下大要人は連
が意かつたといへばそれでも一應
は説明はつくが完全に納得出来ぬ
スターリンの真実
して帷幕に参加してゐるものにモ
ロトフ、カカノウイツチ、ウオロシ
ロフ、ゲダーノフ、エニョフら五人
がある。このスターリン門下の五
太玉が独裁官の補佐として控へそ
の内スターリン独裁権の建設方面
を分擔してゐるが、主としてモ
ロトフ（内閣議長）、ヴオロシロフ
（国防相）、カカノウイツチ（交通大
臣委員）の三人で、ゲダーノフとエ
ジヨフは独裁権の強制方面を代表
してゐるのである。スターリンの
独裁権には二面があつて、その一

本當の狼の出現があいとは保證されぬであらう。

スター・リシの取巻き

独裁権のもう一つの部面即ち強制的方面と云ふのは、国内の異分子の排除、外國のズパイ、破壊急業氣分の禪廢など強制的権力を行使する係である。さうしてこれを擔任する者が党書記局の仕事をつて、現在最も実力を有してゐるが前記のゲーダーノ（党中央委員書記兼レニングラード党支部長）とエジヨフ（党中央委員書記兼内務人民委員、ゲーベ、ウ長官）の二人である。過去に於て豫制部面が最も露骨に現はれたのがかの戦時共産主義時代であつて、当時のゲベウ長官ケエルケンスキイによつて、揮はれた赤白テロは世界を震撼させたものであつた。然るにその後ソ聯が經濟建設事業に没頭す

一の面はソ聯の經濟建設及び国防力の増加によつて一團社會主義社会を速かに建設せんとするいはゞ建設係である。その方面では出来るだけ大衆を建設事業に動員してソ聯を強力な国家に仕上げる任務を持ち、モロトフは内閣主班として、国内建設事業を全般的に指導し、ウオロミニコフは國防力の再建に邁進する。力かハウイツチは先に竟賽記録に在つて強制方面的に参与してゐたが、現在では交通人民委員としてソ聯建設事業中で最も難困穢ざれども交通機関の再建事業を分擔することにあつたもので、この力かハウイツチだけ

漢和大辭典

考文の研究
少子一冊を
考証本の事
考證文下卷